

第9回 プラットフォームエコノミクス研究会  
議事要旨

日時：令和4年2月18日（金）9時00分～11時00分

場所：オンライン開催

**出席者**

メンバー：依田委員、市橋委員、大木委員、黒田委員、善如委員、土居委員

ゲスト：栗林恵次郎氏（data.ai inc.（旧 App Annie Japan 株式会社））

オブザーバー：内閣官房デジタル市場競争本部事務局、消費者庁消費者政策課、公取委デジタル市場企画調査室

**議事概要**

**1. ランダム係数ロジットモデルによる需要推定方法等について**

- ・ 土居委員から、上記論文について以下の説明が行われた後、質疑応答が行われた。
  - ✓ 市場画定や政策効果の測定において、製品間の競合度合の把握が重要となる。需要量と価格の関係（需要関数）を直接推定する方法もあるが、製品数が多いと推定するパラメーター数が膨大になるため、製品の特徴と効用の関係（効用関数）を推定し、最大の効用が得られる製品を買うと仮定して需要を推定する方法がある。この方法は、ランダム係数ロジットモデルとして需要推定において広く用いられている。
  - ✓ ランダム係数ロジットモデルの推定には、「市場シェア」「製品特徴」「価格」のデータが必要である。このようなデータが公表されていれば、世界中の研究者が積極的に日本に関する需要推計を行う可能性が高く、日本としても公開するメリットは大きいのではないかと。

**2. 事業推進・意思決定を後押しするモバイル市場データについて**

- ・ 栗林氏より、data.ai inc.（旧 App Annie Japan 株式会社）が提供するモバイル市場データについての紹介が行われた後、質疑応答が行われた。
  - ✓ 当社では、モバイルアプリ市場に関して、世界の主要国・都市別及びアプリ単位でのダウンロード数や収益額、利用時間、ユーザー属性、アプリ重複利用傾向、集客情報等のデータを提供している。
  - ✓ 日本のモバイルアプリ市場では、アプリの総収益に占めるゲームアプリの割合が高いという特徴がある。ただし、直近3年間でゲーム以外のアプリの収益が拡大している。
  - ✓ 米国のビジネススクールとの連携も始まり、研究者との連携を行う機会も増えている。

**お問合せ先**

商務情報政策局 情報経済課 デジタル取引環境整備室

電話：03-3501-0397

FAX：03-3501-6639